



下津井中学校H1  
二次元コード

# はばたき

校訓 自主・勤労・責任

倉敷市立下津井中学校  
学校だより  
令和4年5月16日  
NO.4

## 5月6日 参観日

もう、ずいぶん昔に感じますが、今年のゴールデンウィークは、三部に分かれていました。その二部と三部の間が5月6日で参観日でした。コロナの影響で当初の予定とは変わってしまいましたが、お忙しい中、たくさんの保護者の方に授業を参観してもらいました。

保護者の方、お一人お一人に声をかけ、ご意見をお聞きすることはできませんでしたが、私の耳に入ってきた声から、勝手に下津井中学校で感じたであろう思いを推察してみます。

その一、「この階段は変わってないなあ。」これは、おそらく本校の卒業生同士でもある、お母さんたちの声。……下津井の学校の歴史を綴っている「しもつっ子」は、今年の令和3年度版が第63号で、第1号は昭和34年だ。当時の中学生は70歳をゆうに超えているだろう。世の中はどんどん変わっている中、変わらないところがある学び舎もなんだか素敵だと思いませんか？（その階段でどんなストーリーがあったのか聞いてみたかったです。）

その二、「あれで、みんなが見えるん？」これは、ロイロノートのカードを動かす生徒の姿から聞こえた声。……授業中に他者の意見を知る方法は、保護者の方が勉強していた時よりも、タブレットの登場で一気に増えました。今の社会は、短い時間にたくさんの意見を吸収して、自分の意見を発信することが求められます。そのための練習を授業の中で、しっかりしていきましょう。失敗したっていいんです。お互いたくさん失敗して力をつけていきましょう。

（中学生時代に失敗したことない人よりも昔の失敗談が多い人の方が魅力的かもね。）



タブレットを見ながら他の人の意見と比較して相談する



絵を言葉で伝えるって難しい。。



今から祈りを込めて合格祈願！



振り返れば母がいる



